

対象校No.

注1

学校コード F113310103652

注2

変更年度

令和

6年度

認可

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

注2

東京通信大学 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 (通信教育課程)

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人日本教育財団

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

管理部

職名・氏名

シュジ フジシマ ヨウスケ
主事・藤島 洋介

電話番号

03-3344-2222 (内線: 274)

(夜間)

03-3344-2222 (内線: 274)

e-mail

daigaku.renraku@internet.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に()書きにて、旧名称を記載してください。

例) ○○大学(旧名称: ◇◇大学(平成◇◇年度より名称変更))

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①情報マネジメント学部情報マネジメント学科	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	6

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人日本教育財団

(2) 大 学 名

東京通信大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒160-0023

東京都新宿区西新宿1-7-3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	加ヤ トヒロ 粕谷 俊彦 (昭和46年4月)		
学 長	ムラカ ヲウイチ 村岡 洋一 (平成30年4月)		
学 部 長	カウ ヤスヒサ 加藤 泰久 (令和4年4月)		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画								定員変更年度	学生募集の停止 について	備 考		
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員							
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後						
情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 学士（情報マネジメント）	4 年	400 人	850 人	2年次 3年次 200 人 4年次 人	2年次 3年次 300 人 4年次 人	2000 人	4000 人	令和6 年度					
対 象 年 度 区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	春季入学以外の学 期区分について		収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)			
	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期							
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	850人 () ((300)) []	850人 () ((300)) []	春季入学以外の学 期区分を設ける予 定		1.14倍		一倍		
志願者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	950 (44) ((249)) []	115 (9) ((67)) []	665 (49) ((266)) []	入学時期：秋季(9 月) 入学定員：280人					
受験者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	928 (38) ((240)) []	111 (8) ((61)) []	637 (45) ((252)) []						
合格者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	916 (38) ((234)) []	111 (8) ((61)) []	634 (45) ((249)) []						
B 入学者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	847 (36) ((219)) []	103 (8) ((56)) []	570 (36) ((229)) []						
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	1.11	0.67							

(注)・当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）
- ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「－」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ））書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期は「－」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・「（5）調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	東京通信大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
情報マネジメント学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
情報マネジメント学科	4	850	3年次300	3,100	学士(情報マネジメント)	1.14	-	令和6	平成30	東京都新宿区西新宿1-7-3				
人間福祉学部														
人間福祉学科	4	400	3年次200	2,000	学士(人間福祉)	1.29	-	-	平成30	東京都新宿区西新宿1-7-3				
大学全体	4	1250	3年次500	5,100	-	-	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年度)	情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 の収容定員超過の是正 に努めること。 【認可】 遵守事項	令和6年度は収容定員2,550人に対し、在籍者数は3,427人となり、収容定員充足率は1.34倍となった。 入学者選抜においては、令和4年度に計画し履行済である「予定する入学者数：入学定員の1.2倍、辞退率(辞退者数／合格者数)：7.8%を考慮した合格者数」を目標として実施することで入学定員が超過しないように是正を行っているが、5年次以降の学生が715人在籍しており、在籍者数の20.9%の割合を占めていることが充足率を超過している原因と考えている。この理由として、①本学の在籍可能期間が最大8年間であること、②半数以上を占める社会人学生が自身のペースで学習していること、③学費が安いことが挙げられる。 本学は5年次以降の学生も対象に、学生一人ひとりに専任教員のアカデミック・アドバイザーと履修相談できる体制を整備しており、卒業までの道筋を一緒に検討できるようにしている。また、教務委員会と連携しながら、在籍年限までに必要な単位を算出し、履修ペースに遅れがある学生に対し履修を促すメッセージを発信しており、学生一人ひとりが自身の学習ペースで卒業できるように支援する仕組みを整備している。 令和7(2025)年度に本学で初めて在籍年限8年目を迎えるため、在籍状況の実態を踏まえながら上記の指導体制を継続し、卒業までの道筋を指導することを通じて、収容定員超過の是正に努めていく。(6)	収容定員超過の是正に向けて以下の2つを実施する。 入学者選抜においては、令和7年度も令和6年度と同様に、予定する入学者数は入学定員の1.2倍とし、令和4年度の計画時の辞退率(辞退者数／合格者数)7.8%を考慮した合格者数を目標として計画する。 5年次以降の学生においては、令和7(2025)年度の在籍年限8年目の在籍状況の実態を踏まえながら、アカデミック・アドバイザーによる履修相談及び教務委員会と連携した指導体制を継続し、卒業までの道筋を丁寧に指導することを通じて、収容定員超過の是正に努めていく。(6)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年度)	入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。(情報マネジメント学部情報マネジメント学科(通信教育課程)) 【AC】 指摘事項 (改善)	令和7年度は収容定員3,100人に対し、在籍者数は3,564人となり、収容定員充足率は1.14倍となった。 入学者選抜においては、令和7年度は令和4年度に提示した入学定員超過の是正に向けた改善計画のとおりに入学者選抜を実施した結果、合格者数634名に対し入学者数570名となり、入学定員超過率は0.67倍となり、計画よりも少ない入学者数となった。また、辞退率の実績は10.1%(辞退者数／合格者数)であり、計画時の辞退率7.8%と比較し辞退率が上がった。昨今、通信教育課程を編成する大学や学部・学科を新設する動きが活発化する中、志願者の選択肢が広がったことが一つの原因と考えている。 また、本学部では5年次以降の学生が826名在籍しており、在籍者数の23.1%の割合を占めていることが充足率を超過している原因の一つと考えられる。社会人学生が多く、在籍可能期間も8年間あるため、修業年限に拘らず仕事と並行して自分のペースで学習していることが挙げられる。学生一人ひとりの専任アカデミックアドバイザーによる履修指導や履修登録時の履修相談会の実施、学内ポータルサイトでの学習促進ページの作成、チャットボットの導入などによって、学生が卒業までの道筋を作れるように継続的なサポートを行い、収容定員超過の改善に努めていく。(7)	令和8年度においても令和7年度と同様に、予定する入学者数は入学定員の1.2倍とし、令和4年度の計画時の辞退率7.8%を考慮した合格者数を目標として計画する。本学は入学者選抜を数回に分けて実施するため、その状況を鑑みながら調整を図っていく。 令和7(2025)年度に本学で初めて在籍年限8年目を迎えるため、在籍状況の実態を踏まえながら、計画した入学者選抜の実施及び5年次以降の学生に対するきめ細かな履修指導を継続し、収容定員超過の改善に努めていく。(7)

設置計画履行状況	東京通信大学の既設学科等（人間福祉学部人間福祉学科）の収容定員超過の改善に努めること。		令和7年度は収容定員2,000人に対し、在籍者数は2,589人となり、収容定員充足率は1.29倍となった。 入学選抜においては、通信教育課程を編成する大学や学部・学科を新設する動きが活発化する中、志願者の選択肢が広がったことも起因し、本学の予想を超えた多くの志願者数となり、結果として入学定員に対して過大な合格者数となった。上記の反省を踏まえ、令和8年度においては、情報マネジメント学部と同様に辞退率を考慮した定員管理を行うこととする。 また、本学部では5年次以降の学生が327名在籍しており、これは本学部在籍者数の12.6%を占めている。この割合の高さも、充足率超過の要因の一つと考えられる。特に、そのうち62.6%にあたる205名の学生は、社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験受験資格の取得を目指すコースに在籍しており、資格取得に必須となる指定科目の単位修得のために学習を継続している。これらの学生の多くは社会人であり、仕事と両立しながら自身のペースで計画的に学習を進めているため、標準修業年限を超えて在籍している状況が見られる。 学生一人ひとりの専任アカデミックアドバイザーや国家試験対策委員会が学生と密な連携をとり、履修進捗状況や卒業までの履修計画などの指導を徹底し、学生が卒業までの道筋を作れるように継続的なサポートを行うことで収容定員超過の改善に努めていく。（7）	履行中	入学選抜においては、情報マネジメント学部と同様に、予定する入学人数を入学定員の1.2倍、辞退率8.8%（設置時からの辞退率の平均）を考慮した合格者数を目標として計画する。本学は入学選抜を数回に分けて実施するため、その状況を鑑みながら調整を図っていく。 令和7（2025）年度に本学で初めて在籍年限8年目を迎えるため、在籍状況の実態を踏まえながら、計画した入学選抜の実施及び国家試験受験資格取得を目指す学生や5年次以降の学生に対するきめ細かな履修指導を継続し、収容定員超過の改善に努めていく。（7）
調 査 結 果		【AC】 指摘事項 （改善）			
（令和7年度）					

（注）・「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。